

ぴっぷ議会だより

よーいドン！
笑顔でバトンをつないだよ



- 2 審議結果「第2回定例会」ほか
- 4 一般質問
- 8 各常任委員会報告
- 11 ぴっぷ議会だよりが100号を迎えました

7月4日 くるみ保育園運動会

競技種目を減らし、観覧者数を制限するなど新型コロナウイルス感染症の予防対策を十分に行い、短時間で運動会を開催しました。

6月17日 第2回定例会

新型コロナウイルス感染症対策でマスクを着用しています。



農業委員会委員の任命など議案 21 件を審議

6月17日に開かれた令和2年第2回定例会では町の課題等に対し、4議員が一般質問をしました。議案21件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4〜7ページに掲載しています。

報告

◆専決した事件

除雪車両の接触事故による賠償報告（9、177円・損害保険適用）

◆令和元年度比布町緑越明許費繰越計算書

地方自治法に基づく報告で、簡易水道事業特別会計の簡易水道施設整備事業42万3千円を令和2年度に繰り越して執行する報告がありました。

人事

◆農業委員会委員の任命

任期満了による農業委員会委員について、次の10名の方々の任命に同意しました。

- 大熊 勝 幸氏（新町）
- 信 濃 和 子氏（新町）
- 御 囲 正 寛氏（5区）
- 山 口 剛 志氏（6区）
- 福 井 伸 夫氏（3区）
- 武 藤 加代子氏（11区）

条例

- 勝見 宏 彰氏（21区）
- 安 田 涉 氏（15区）
- 岡 田 浩 幸氏（9区）
- 山 口 秀 則氏（2区）

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための比布町国民健康保険に係る保険給付の臨時特例に関する条例の制定

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした臨時の措置として、国民健康保険法に規定する傷病手当金について、町条例の特例を定めるものです。
【原案可決】

◆比布町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴う条例改正です。
【原案可決】

◆比布町手数料条例の一部を改正する条例

法律の改正でマイナンバー通知

カードが廃止されることに伴い、関係条文等を改正するものです。

【原案可決】

◆比布町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法等の改正及び令和2年度税率の改正、新型コロナウイルス感染症の影響による減免の特例を設けるものです。

【原案可決】

◆比布町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

北海道後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例等の

改正に伴う条例改正です。

【原案可決】

◆比布町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法の改正に伴う条例改正です。

【原案可決】

◆比布町社会教育委員条例の一部を改正する条例

社会教育委員の任期を改正するものです。

【原案可決】

◆比布町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い条例を改正するものです。

【原案可決】

補正予算

◆一般会計(第4号)

◆国保特別会計(第1号)

◆介護保険特別会計(第1号)

補正額と総額、主な内容は左表のとおりです。

【原案可決】

意見書を提出

第2回定例会において、次の意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。

◆「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書

【提出先】内閣総理大臣、衆参両院議長、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣(地方創生・規制改革)

◆新型コロナウイルス対策にかかわる各種対策、地方財政の充実・強化を求める意見書

【提出先】内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣(地方創生・規制改革)、内閣府特命担当大臣(経済財政政策)

◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

第3回臨時会

5月28日

◆一般会計(第3号)
補正額と総額、主な内容は上の表のとおりです。
【原案可決】

第4回臨時会

7月27日

◆一般会計(第5号)
補正額と総額、主な内容は上の表のとおりです。
【原案可決】

令和2年度各会計補正予算(第3回臨時会)
<p>一般会計(第3号) 5,932万5千円の増(総額40億3,414万9千円) ■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る事業費の増</p>
令和2年度各会計補正予算(第2回定例会)
<p>一般会計(第4号) 4,979万円の増(総額40億8,393万9千円) ■交流促進施設運営事業委託料の増、商工業振興事業補助金の増ほか</p>
<p>国民健康保険特別会計(第1号) 925万1千円の増(総額5億6,504万8千円) ■税率改正に伴う保険税の増ほか</p>
<p>介護保険特別会計(第1号) 8千円の増(総額5億8,015万3千円) ■介護保険法の改正に伴う保険料の減ほか</p>
令和2年度各会計補正予算(第4回臨時会)
<p>一般会計(第5号) 3億5,910万3千円の増(総額44億4,304万2千円) ■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る事業費の増ほか</p>



高齢者等への除雪サービス事業の問題点について

村中町長

問題を共有しながら 公共サービスを継続していく



植西 浩一 議員

□質問・植西議員

高齢者等への除雪サービス事業について、問題点は3つあると考えています。

①利用者との除雪範囲・程度の合意が十分であるのか

利用者と作業を行う高齢者事業団の会員、保健福祉課で共通理解がなくてはならないと考えます。

②作業者へのサポート体制は

春先の暖気などで道路に穴が開いたときには、タイヤローダーなどの作業車両等でなければ除雪ができない場合があります。除雪スコップやスノーダンプしか持たない作業者に対してのサポート体制はどのようなになっているか伺います。

③作業者への最低保障について

令和元年度シーズンのように積雪が少ないシーズンでは、まったく稼働できず、作業者が継続して就労することができなくなることが懸念されます。

このような問題が長く続けば、除雪サービス事業自体の継続が困難になると思われます。これらの改善を求めたいと思います。

■答弁・村中町長

冬期間の除雪が困難な高齢者等世帯に対し、必要に応じて住宅の出入口及び住宅周りの除雪、住宅・物置屋根の雪下ろしサービスを提供しています。

①除雪範囲・程度の合意については、除雪幅は概ね1.5メートルと基準を設けています。

ただし、農家地区など道路から玄関までの距離が長く、自動車の出入りが必要であるなど、1.5メートルの幅では日常の生活に不都合が生じる場合には、極力利用者の希望に沿った形で除雪幅を広げるなどの対応をしています。それにより作業時間が増えた場合の費用については、利用者負担をお願いしています。

作業終了後には、利用者による作業箇所の確認をいただき、確認印をもらうこととなっていますので、除雪範囲についても合意をいただいていると考えています。



②高齢な作業者に対してのサポート体制については、春先の暖気により除雪箇所が穴が開き、タイヤローダーが必要になるといったケースがあれば、トラクターなどを所有している会員を派遣することで対応できるものと考えます。

また、平成30年には町より除雪機1台を高齢者事業団へ無償で貸与し、作業者の負担軽減を図っています。

③作業者への最低保障については、高齢者事業団からの報告では現状で問題ないと聞いています。

□質問・植西議員

行政も問題点を共有しなくてはならないと考えます。

■答弁・村中町長

いつでも問題を伺い、共有する体制を取っています。また、この除雪サービス事業が民業圧迫とならないように配慮しながら、自治体としての公共サービスを実施していきます。



医療・介護・教育関係者に優先したPCR検査を

村中町長

予防対策と地域経済の回復に努める



遠藤 ハル子 議員

新型コロナウイルス対策は医療、介護、教育関係者に優先したPCR検査を

□質問・遠藤議員

第2波、第3波の新型コロナウイルス感染の広がりの前に、医療、介護、教育関係者の方へPCR検査を受けてもらい、安心して仕事に就くことができるような体制が取れないのかと考えます。

医療、介護施設関係者などは、緊急事態宣言が要請されても勤務を続けてきました。新型コロナウイルスの感染の有無を調べるためのPCR検査を町負担で実施し、感染症の予防と経済活動をともに進めていくことの重要性について町長に伺います。

■答弁・村中町長

新型コロナウイルス感染症は、いつ誰がどこで感染してもおかしくない状況にあり、特に、医療現場や介護現場においては一般の人と比べ感染リスクも高く、関係者の皆様のご苦勞は計り知れないものがあると思います。

PCR検査に掛かる自己負担は、検査料と判断料を合わせて約2万円になります。3月から健康保険の適用となり、自己負担は初診料などを除き公費負担の対象となるため、町費で助成する部分はない

ものと考えます。先のことになかなか見えない中で、現在のところ検査費用については、今からお約束することは難しい状況です。

自粛の解除により一気に人の流れが変わり、経済の回復は見込まれますが、接触機会が多くなれば、第2波、第3波の危険も増すことになり、結果として医療現場の崩壊や更なる自粛要請が出される可能性も否定できないことから、国の臨時交付金を有効に活用し、経済活動の活性化だけではなく、できる限りの予防対策を実施した上で、一日も早い地域経済の回復に努めていきます。

□質問・遠藤議員

積極的検査へ方向転換する考えはありませんか。

■答弁・村中町長

私としては検査時点までの安心となつても検査以降の生活における感染への不安がありますので、検査を受けても、その後の安心には繋がないような思いがあります。

日本遺産指定の

突哨山の自然を生かす政策について

□質問・遠藤議員

文化庁50年の記念事業「日本遺産100選」の55番目に「カムイ

とともに生きる上川アイヌく大雪山のふところに伝承される神々の世界」が認定されました。

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るものとして歴史的経緯や地域の風土に根ざし世代を超えて受け継がれている伝承、風習等を踏まえたストーリーであること、また、有形・無形の文化財群を地域が主体となつて総合的に整備・活用し、地域の活性化を図ることを目的としています。

■答弁・村中町長

文化庁の新事業は、文化財を「保存」から「活用」へと方針転換し、地域主体で活用と発信を行い、地域の活性化を図るもので、十勝管内も含めた2市10町が大雪山麓上川アイヌ日本遺産推進協議会の構成員となっております。

今後におきましては、「びびの路探索ツアー」などの公民館事業と融合させ、アイヌの人たちの生活や歴史、文化への理解を深める事業を検討し、子どもたちや町民の皆さんが突哨山に関心を持ち、地域の魅力を感じていただくことが大切だと思えます。



新型コロナウイルスの影響を受ける事業者への支援を

村中町長

国の2次補正予算を活用し 新たな支援策を講じていきたい



谷口 雅浩 議員

□質問・谷口議員

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者に対する「事業継続支援給付金事業」について伺います。

5月25日に緊急事態宣言が解除になり、北海道は第3波を抑える感染拡大防止と経済活動を両立できるかが焦点となりますが、終息が見通せない中「新しい生活様式」では、3密（密閉・密集・密接）の回避、人との間隔は2m以上空けるなど日常生活を取り戻したとは言えない状況です。

また、影響が遅れて出てきている事業所もあり、このことから新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内事業所を維持、継続していくために、5月1日開催の第2回町議会臨時会において可決された「事業継続支援給付金交付事業」を再度行う必要性があると考えますが、町長の考えを伺います。



■答弁・村中町長

「事業継続支援給付金事業」は、比布商工会に多大な協力をいただき、5月上旬から受付を開始し、幅広い業種からの申請を受理しました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症を巡り、今後当分の間は通常どおりの経済活動とならないことは明らかであり、国の基本的対処方針でも3週間おきの検証を継続し、7月末までを段階的緩和への移行の目安としていることから、経済回復への道のりは、まだまだ遠いと考えます。

このことから、引き続き影響の大きい事業者への支援の継続は必要と考えており、国の第2次補正予算の活用も視野に入れた新たな支援策を設ける準備を進めています。

同時に「新しい生活様式」に基づく事業所の改修など、事業者の努力で利用者が安心して来店できる環境整備を進めることに対しても支援をしていく必要があると考えています。

□質問・谷口議員

いろいろな対策の仕方があると思いますが、やはり私は、給付金というのが一番スピード感のある

方法ではないかと思っています。

全国的には実際に支援が届かなかつたため、お店が減少したり、事業を縮小せざるを得ないという実態があります。

事業が決まっても制度内容が複雑で、それが施行されたときには、すでにお店がなくなっていたというようなことを避けなければならぬと考えます。

■答弁・村中町長

この新型コロナウイルス感染症の対策については、人の命も事業所の明かりも両方消さないという強い思いで臨んでいます。そういった意味からも新型コロナウイルス感染症によって事業所もなくなないように全力を尽くします。





火葬場建築工事の設計と 設定価格は適正だったか

村中町長

適正だったと判断している



佐藤 康則 議員

比布町発注工事入札結果と設計について

□質問・佐藤議員

昨年の火葬場改築主体工事入札では企業体を含む計7社が指名され、初回の入札後、4社が辞退を表明しました。その起因は何か、設定価格は適正であったか伺います。

■答弁・村中町長

設計や現場条件・工期の設定は適切だったと判断しています。

□質問・佐藤議員

小さな行政の古い体質で、指名さえすれば落札に至る。参加企業は発注者に不名誉を残さぬよう損失覚悟で落札する気質がありました。

今回は実行予算のとおり数千万円の損失が出たと聞いています。適正な設計価格と信じたいのですが、2度目の落札率も99・7%で、受注者の損失結果を聞くと、どこかに原因があると思いますが、どのような印象をお持ちか伺います。

■答弁・村中町長

落札者はその価格で事業ができるから落札をしたと思っています。

□質問・佐藤議員

設計内容について監査機関での確認は可能でしょうか。

■答弁・村中町長

この設計は適切に行っています。確認しなければいけない理由があれば教えていただきたいと思っています。

□質問・佐藤議員

前項のほか、施工中の豪雨により法面崩壊も発生し、湧水処理を含む再施工の変更依頼の要求に非対応であったことも要因に加わります。

■答弁・建設課長

養生等の不備があり、施工者の方から取り下げたと私は聞いています。

□質問・佐藤議員

それも含め、専門の機関で確認をしていただきたいと考えます。

過去には請負業は請け負け業と言い換えられていましたが、現在は国・道・市も同等の立場で技術懇談会を開催し、次年度の設計に反映しています。

■答弁・村中町長

近隣町等調査し検討したいと思えます。

くるみ保育園の園舎と今後の運営は

□質問・佐藤議員

くるみ保育園の歴史は古く、昭和17年に初代園長が後援活動を兼ね、弘誓寺の本堂で託児所を開設し、近所の商店主が胡桃の高木を伐採してブランコを寄贈したことが先駆けと由来であります。

その後、昭和30年に本格的な保育事業を開始するも多額な私財が投じられ、共感した多くの方々の奉仕が

この施設を力強く支えました。

昭和43年に社会福祉法人大悲会が設立され、初代理事長に就任された前園長が旧東園小学校校舎2教室分の木材を再利用して園舎を拡張し、認可保育園として新たに開園され、両園長の熱意が継承され現在に至りますが、園舎自体も劣化が進行し一部耐震基準に達していないと推測します。

運営主体の大悲会とは、どのような協議をされているか伺います。

■答弁・村中町長

認定こども園への移行を前提に中央ふれあい広場で整備を検討し、大悲会の意向は本年度設計、来年度着工、令和4年春の開設を目指しており、併せて避難所としての機能も検討されています。

建設費も道との連携で法人負担が極力小さくなるよう配慮し、地域の実情に応じた保育環境の充実に努めます。

□質問・佐藤議員

現園長・副園長との意思の疎通が取れているか、地域や居住者の方々に協力をいただき、正面に大雪山裾野に広がる田園風景とそば畑、比布ならではの風光明媚な環境が整う新町団地を予定地にできないか伺います。

■答弁・村中町長

町が提案した中央ふれあい広場で園長を含む大悲会の理事会で異議なく決定し、検討されています。

委員会のactivities



総務常任委員会

6月9日開催

Q…委員からの質疑
A…担当からの回答

【税務住民課】

《報告事項》

- 令和元年度町税等の調定及び収納状況
- 上川広域滞納整理機構の収納状況
- 令和元年度戸籍・住民登録人口等の推移

《協議事項》

- 比布町税条例等の一部改正案
地方税法等の改正による町条例の改正
- 比布町手数料条例の一部改正案
マイナンバー通知カードの廃止による改正等

《その他》

- 合同墓整備事業
収蔵数は1,100体で、収蔵期

間は20年間。7月以降に整備を始め、完成後に供用を開始します。
Q 親族のいない人などから生前予約を受けるのか。

A トラブルになる可能性があるため難しいと考えている。

Q 納骨袋は誰のものかわからないように収蔵されるのか。

A 納骨袋に記名はしない。一度収蔵されたものは返還しないことで検討している。

Q ごみ証紙について

A 今年4月からの値上げの際に、想定を超える5円証紙の購入があり、不足が生じたことについて、おわびがありました。

【保健福祉課】

《報告事項》

- (1) 福祉係
 - 令和元年度高齢者等の冬の生活支援事業
助成世帯220件、220万円

◇ 門口除雪サービス事業

93世帯、降雪量が少なかったため、出勤回数は農家地区18回、市街地16回

■ 令和元年度高齢者移動支援（びたく）
登録者数は前年度より18人増の199人、利用実績は前年度より100回増の1,848回

■ 保育施設等入所児童数

くるみ保育園は前年度より11人減の88人、うれしば保育園は9人

■ 令和元年度児童手当等支給状況
令和元年度障害者自立支援給付

1,469件、約1億6,200万円
◇ 補装具 26件、約280万円

◇ 移動支援
188件、約1,700時間

◇ 日常生活用具
25件、約1,050万円

(2) 保健係・予防係・栄養指導係
■ 令和元年度健診等結果状況等

◇ 特定健康診査等

集団健診受診者数491人、うち結果説明実施者482人、その他は郵送で対応しました。

◇ 健康マイレージ事業 66人応募

◇ 脳ドック検診 29人受診

◇ その他 講演会、男性の料理教室、離乳食教室、就学時健診、いちごっ子ヘルスアップ健診、妊婦訪問、面談などを実施

(3) 介護保険係

■ 令和元年度介護保険特別会計決算見込

■ 介護給付費の推移

(4) 地域包括支援センター

■ 令和元年度地域包括支援センター運営状況

総合相談支援、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント事業、地域支援事業など

■ 令和2年度一般介護予防事業

(5) 国保医療係

■ 令和元年度国民健康保険特別会計決算及び後期高齢者医療特別会計決算見込

■ 令和2年度国民健康保険税率案

《協議事項》

■ 第2回議会定例会提出議案

国民健康保険条例の一部改正案、各会計補正予算案など

《その他》

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
- くるみ保育園新園舎建設計画（予定）

【生涯学習課】

《協議事項》

■ 第2回議会定例会提出議案
比布町社会教育委員条例の一部改正案、比布町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する



うれしば保育園いちご狩り

基準を定める条例の一部改正案

■新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金（2次補正分）

《報告事項》

■令和元年度学校給食費会計の決
算状況

■令和元年度社会教育施設の使用
料等

■令和元年度図書館の利用状況等
■教育委員会機構図

■児童生徒数と学級編制数及び教
職員体制

■小中一貫教育推進事業計画
■学校運営協議会事業計画

■スクールカウンセラー・スクー
ルソーシャルワーカーの配置

■学校再開後の年間指導計画、授
業時数の確保

■GIGAスクール構想※

※児童生徒一人に1台パソコン等
の端末を配置するとともに高速大
容量の通信ネットワークを一体的
に整備し、公正に個別最適化され



比べべを食いちのびつで食給

た学びを全国の学校現場で持続的
に実現させる構想

■スポーツ少年団、公民館教室等
の加入状況

■所管施設工事発注状況
◇運動公園防球ネット新設工事

◇中央プールプールサイド改修工事
■新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金（1次補正分）

◇比布町図書館パワーアップ事
業（本の消毒機を購入）

◇小・中学校臨時休業に伴う学習等
支援事業（USBメモリーの購入）

《その他》
■教育指導主事の任用

【総務企画課】

《報告事項》

■第2回議会定例会提出議案

■町債について（元年度決定・2
年度申請）

■令和元年度比布町各会計決算見
込・基金の状況

■ふるさと納税の状況

■特別定額給付金申請・支給状況
■新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金に係る比布町
学生応援事業の概要

■その他

◇友好交流事業

◇新型コロナウイルス感染症の対
応について

《協議事項》

■第2回議会定例会提出議案

◇簡易水道事業特別会計繰越明許
費繰越計算書

◇令和2年度一般会計補正予算案
■新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金（2次補正分）

Q 介護・医療など本当に困ってい
る人への支援を考えて欲しい。

A 支援については検討している。

Q インターネット環境を整備する
提案は2次補正に入るのか。

A 光ケーブルを未整備地区へ敷設
する予定。NTTから町負担が少
ない形での提案がある。

総務常任委員会

7月17日開催

【総務企画課・保健福祉課・生涯学習課】

《協議事項》

■新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金（2次補正分）
に係る事業内容など

産業建設常任委員会

6月5日開催

【産業振興課】

▽農林部門

《報告事項》

■農作物の作付状況

(1) 各作物の作付計画

◇水稲 137戸 150、848・5[㍗]
◇小麦 20戸 6、508・4[㍗]

◇かぼちゃ 52戸 3、740・3[㍗]
(2) 作業受委託契約状況

◇作業受託組織

4 組織 28、500・5[㍗]
9 組織 16、094・8[㍗]

■経営所得安定対策
産地交付金の活用方法案

■町単独補助事業の実施予定
◇農地流動化促進対策

売買支援 申請21件、継続17件
■土地改良事業の実施予定

道営事業 比布中央第2地区、
拓進地区

■有害鳥獣対策
猟友会員11名、エゾシカ捕獲13
頭（5月22日現在）

《協議事項》

■新型コロナウイルス感染症の影
響に伴う農畜産者への支援

◇高収益作物次期支援交付金（国
の補正予算）

◇比布町における支援策について

▽商工・観光部門

《報告事項》

■令和元年度各施設の利用状況
■各イベント等の実施状況

■事業継続支援給付金交付状況

◇申請件数 19件

(法人8件・個人11件)

◇交付額 1,135万6,500円

(5月29日現在)

■地方創生対応臨時交付金を活用した事業

(1)「がんばろう!ぴっぷ応援特別商品券」給付事業

◇登録された町内事業所(応募型)で使用できる商品券/町民一人当たり5千円分

◇町内飲食店限定クーポン券/町民一人当たり5千円分

(2)テイクアウトサービス事業支援金交付事業

(3)ぴっぷ良佳村エリア特別利用券給付事業



商品券は11月30日までにご利用ください!

《協議事項》

■第2回議会定例会提出議案

◇令和2年度一般会計補正予算案

■令和2年度ぴっぷスキー場営業方針案

■新型コロナウイルス感染症の影響に伴う商工業者への支援

【建設課】

《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況

◇住宅関係

東団地住棟解体工事他

3件 4,381万5,970円

◇土木維持関係

北1線道路路盤改良工事他

11件 3,853万4,100円

■令和元年度町営住宅使用料の収納状況及び令和2年度管理状況等

◇元年度分収納率 99・55%

◇滞納繰越分収納率 56・63%

◇町住管理戸数 298戸

■令和元年度上下水道使用料等の収納状況

◇水道料金収納率 99・66%

◇下水道使用料収納率 99・78%

■繰越明許費

◇水道事業繰越額 42万3千円

【農業委員会】

《報告事項》

■令和2年度農業委員会活動計画

担い手育成対策、地域農業振興対策、遊休農地対策、情報活動の推進など

■令和2年度農業委員の業務概要・農業概況

◇農地の権利移動(元年度)

農地法第3条における所有権移転6件、賃貸借5件、使用貸借10件

聞かせてください!



議会傍聴の感想

比布町に住んで22年、医療や交通、商店街が変化しました。町の生活機能が変わりゆく中で行政が考えていること、そして、その方向性を決定する瞬間に興味があり、議会を傍聴しました。

高齢になってもここに住み続け、自分の中で楽しみを作りながらつながりを増やし、最期まで長く暮らしたいと思っています。

議会の開催について、特に予算を決める議会は夜などの開催にならないでしょうか。次の1年を決める大事な場ですので、多くの方が傍聴できるように検討をお願いします。

町議会の決定があり、町が進んでいきます。『町民が安心して暮らせるためのこと』を議会の場で話してほしいと思います。

(60代・男性)

産業建設常任委員会

7月17日開催

《協議事項》

■新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金(2次補正分)に係る事業内容

全員協議会

5月28日開催

《協議事項》

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(1次補正分)に係る事業について

全員協議会

6月17日開催

《協議事項》

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(2次補正分)に係る事業について

議会だよりの変遷



創刊号 議長 星野 義雄
委員長 牧野 勝頼

平成9年5月発行
内容：第1回定例会、
一般質問7人20項目、
予算審議などを掲載



10号 議長 牧野 勝頼
委員長 堀部 勝幸

平成11年6月発行
内容：議会構成、ぴっ
ぷクリニックの建設工
事の開始などを掲載



27号 議長 牧野 勝頼
委員長 岡田 功

平成15年6月発行
内容：改選後の議会構成、
16年5月よりカラー印
刷から1色刷りに



44号 議長 牧野 勝頼
委員長 遠藤ハル子

平成19年6月発行
見出しにご意見があり
委員長名で訂正記事を出
したことがあります。



61号 議長 久保田正義
委員長 今井 明信

平成23年6月発行
読者の意見をお聞きす
るため実施した「議会
だよりのアンケート
調査は有意義でした。



78号 議長 澁谷 興二
委員長 遠藤ハル子

平成27年6月発行
読まれる議会広報紙の
一つとして、議会傍聴
者の声を掲載しました。



95号 議長 中本 諭
委員長 安藤 裕子

令和元年6月発行
4月の改選後新体制の
下、5月には令和元年ス
タートの年となりました。



町民のみなさんと議会をつないで

ぴっぷ議会だよりの

100号

ぴっぷ議会だよりは 創刊から100号を迎えました

平成9年5月、それまで町の広報紙に掲載していた議会の内容をより詳しく町民の皆さんにお知らせすることを目的に、「ぴっぷ議会だよりの発行が始まりました。発行は年4回(改選年は5回)で、5人で構成する議会広報特別委員会が主体的に編集しています。議会だよりは、議会の審議結果や町の事務の状況、将来に対する考え方や説明を町長などに求める一般質問の要旨のほか、行政視察

や研修の報告などを掲載し、議会と議員の活動を広く知っていただくよう努めています。これからも議会は、町民の皆さんのために適切な町政運営を進められているかをチェックし、議会だよりは、その内容をわかりやすい文章で、また一人でも多くの方に手に取ってもらえるように写真やイラストを使いながら、親しみやすい紙面づくりを心掛けていきます。



議会広報特別委員会
写真前列左から：安藤裕子委員長、谷口雅浩副委員長
後列：佐藤康則委員、遠藤ハル子委員、大熊勝幸委員

びっぶ議会だより 議会のうごき

5月

- 19日 愛別町外3町塵芥処理組合議会臨時会
(愛別町、組合議員)
- 28日 全員協議会 (役場、全議員)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第3回議会臨時会 (役場、全議員)

6月

- 5日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 9日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 12日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
大雪消防組合議会臨時会 (美瑛町、組合議員)
- 17日 第2回議会定例会 (役場、全議員)
全員協議会 (役場、全議員)
議会広報特別委員会 (役場、委員)

7月

- 3日 観光協会通常総会 (改善センター、議長)
- 16日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 17日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 27日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第4回議会臨時会 (役場、全議員)
議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

次回の議会定例会は9月上・中旬に開会します。
くわしい日程は、無線放送等でお知らせします
ので、お気軽にお越しください。



新聞ちぎり絵「冬イチゴ・紅ほっぺ」
みつばちさん、元気に花粉を運んで
ほしいと思います。

編集後記

令和2年も半年が過ぎましたが、新型コロナウイルスで、行事や会議等の延期や中止が続き、自粛生活を強いられストレスも限界と思われたころ、緊急事態宣言解除が出され、県をまたいで移動が始まると、また感染者増のニュースに、ため息が出てしまいました。

ワクチンや治療薬ができるまでは「新しい生活様式」を実践しながら、しっかり眠って、しっかり食べて、時には外で深呼吸でもして、感謝の気持ちを忘れずに笑顔で過ごしましょう。

異常気象も心配される中、草木は青々と茂り、花はいつものように咲き誇り、作物は秋に向けて実をつけ、自然界は私たちに元気と勇気を与えてくれています。議会や行政も皆さんの心配ごとをしっかり向き合い、対策を考えていきたいと思えます。

今回、「びっぶ議会だより」が100号を迎えました。今まで以上に議会の様子をわかりやすく、読みやすく発行に向けて努力してまいります。ぜひ町民の皆様から議会や「議会だより」に対するご意見等をお寄せいただけましたら、うれしく思います。どうぞよろしくお願いたします。

(安藤 裕子)

議会広報特別委員会

- 委員長 安藤 裕子
副委員長 谷口 雅浩
委員 遠藤 八ル子
佐藤 康則
大熊 勝幸